

計画の位置づけ

「いいだ未来デザイン2028」(飯田市総合計画)、「第2次飯田市教育振興基本計画」に対応するスポーツ分野の個別計画

計画の対象期間

令和7(2025)年度～令和10(2028)年度

【基本理念】

スポーツを通じて
人と地域が輝く社会(まち)飯田

成果指標

(1) こどもの体力・運動能力 (%)

指標	区分	H27	R元	R5
運動能力総合評価の D・E評価の割合 (調査対象の小学5年生と 中学2年生の平均値)	飯田市	42.4	27	32.2
	全国	39	24.2	29.2
	長野県	37.3	23.8	28.1

※R10目標値⇒長野県値以下

(2) 成人の日常的なスポーツ習慣 (%)

指標名	区分	H27	R元	R5
成人の週1回以上スポー ツに親しむ人の割合(%)	飯田市	38.8	48.2	53.9
	全国	40.4	53.6	52.5
	長野県	45.1	57.1	61.2

※R10目標値⇒長野県値以上

(3) スポーツ文化の醸成 (%)

指標名	区分	R3	R4	R5
運動・スポーツをする以 外に見たり大会運営等に 関わっている人の割合	飯田市	48.1	49.8	54.4
	長野県		49.8	54
	全国			

※R10目標値⇒現状維持

< 3次計画における主な課題 >

- ◎ こどもの体力向上・運動好きを増やす
- ◎ 働き盛り世代の運動習慣の定着
- ◎ 競技人口を増やす
- ◎ 2028国スポへの準備
- ◎ 中学生期の活動の地域体制づくり
- ◎ 障がい者、高齢者等の活動環境の充実
- ◎ 指導者の育成
- ◎ 施設の老朽化対策、多様なニーズへの対応

※赤字は重点取組

No	基本目標	主要施策	施策の展開	具体的な取組と活動指標	
1	スポーツによる 健康・体力の向上	(1) 子どもの体力・運動 能力の向上	①こどもの運動・スポーツ機会の充実 ア 豊かな自然を生かした外遊びや自然体験活動の推進 イ 「歩育」の実践による歩くことの推奨 ウ 体幹を鍛え、運動学習能力を高めるプログラムの実践と指導者の育成 エ スポーツに親しむイベントの開催	◇ 保育園・子ども園、小学校等での体幹トレーニングと指導者研修会の実施 >4施設 ◇ 体幹トレーニング等指導者研修会への協力 >1回以上 ◇ 飯田やまびこマーチや公民館ウォーキング事業への参加促進 >2回以上	
			②学校体育等の充実 ア 運動やスポーツが楽しいと感じる環境づくり イ 基本的な生活習慣の定着	◇ 保健体育授業の充実 >各学校における取組の充実 通年 ◇ 一校一運動の実践 >全小中学校 通年	
2	競技スポーツの振興	(1) スポーツ人口の増加と 全国的・国際的に活躍 する選手の育成	ア 競技人口拡大のための支援 イ 一流のプレーに触れる機会の提供 ウ 全国大会・国際大会で活躍する選手の支援 エ 指導者育成のための取組への支援	◇ 飯田市スポーツ協会各競技団体が開催する教室や講習会への支援 >通年 ◇ 飯田市スポーツ協会や民間スポーツクラブが実施するトップアスリートのプレーに触れる機会への支援 >年2回以上 ◇ 選手の活躍の広報活動 >年10回以上 ◇ 指導者研修会等への支援 >2団体以上	
			(2) 2028国民スポーツ大会 に向けた準備と機運の 醸成	ア 国民スポーツ大会に向けた準備 イ 機運醸成のための広報活動	◇ 国民スポーツ大会準備委員会・実行委員会の開催 >年2回 ◇ 広報活動 >年2回
			③スポーツと健康づくり ア 関係課等との連携による健康づくりの取組 イ 安全・安心なスポーツ活動支援	◇ 健康いいだ21(第3次)飯田市健康増進計画(R6～R17)との連携 >通年 ◇ 安全・安心なスポーツ活動の支援 >通年	
3	中学生期の文化・ スポーツ活動の充実	(1) 中学生期の文化・スポ ーツ活動の充実に向け た地域の体制づくり	ア 中学生の地域での活動の場の充実 イ 指導者の確保と育成 ウ 持続可能な活動を支える体制の構築	◇ 文化・スポーツスクールの開催 ◇ 指導者研修会等の実施 >年5回以上 ◇ 指導者リストの作成 ◇ クラブ運営への支援 >年30団体以上	
4	スポーツを支える 人材の発掘・育成	(1) スポーツ指導者の発掘 と資質向上 (2) スポーツボランティア 人材の育成	ア 指導者の指導技術・資質の向上 イ 指導人材を創出する仕組みの検討	◇ 指導者研修会の実施 >年1回以上	
			ア スポーツボランティア等の活動を支える人材の発掘・育成	◇ スポーツイベントでのボランティアスタッフの募集 >年2回以上	
5	スポーツを通じた コミュニティづくりと 交流の拡大	(1) コミュニティスポーツの 推進 (2) スポーツ交流圏域の 拡大	ア スポーツを通じた地域コミュニティの活性化	◇ ニュースポーツフェスティバル、ニュースポーツ講習会等の開催 >全市 年1回 各地区 年1回以上	
			ア スポーツを通じた広域交流の拡大 イ スポーツ合宿等の誘致	◇ 中央道沿線都市大会の開催支援 >大会開催 10種目以上 ◇ 各競技団体主催の広域大会の開催支援 ◇ スポーツ合宿や大規模大会等の誘致 >年5回以上	
6	スポーツを通じた インクルーシブ社会 の実現	(1) 障がい児・者と一緒 に楽しめるスポーツの 推進 (2) 全ての人々がスポー ツに親しめる環境づくり	ア 障がい者スポーツ、レクリエーション活動の普及 イ 障がい児・者のスポーツ活動を支える人材の育成	◇ 障がい者、高齢者、外国人住民と共にスポーツを行う場の創出 >年1回以上 ◇ 全国障がい者スポーツ大会2028への支援 ◇ 障がい者スポーツ教室等への支援や関係団体等への講師派遣 >年5回以上	
			ア 高齢者や外国人住民のスポーツ活動の支援	◇ 各種事業の紹介や施設利用に関する情報提供や多言語表示の掲示	
7	スポーツ施設の整備 ・充実	(1) スポーツ施設の適切な 運営・管理 (2) スポーツ施設の整備・ 充実 (3) 学校体育施設の活用	ア スポーツ施設の利用時における安全の確保 イ 効率的かつ効果的な施設管理	◇ 利用者ニーズや利便性を高めるための施設の維持・管理 >通年	
			ア スポーツ施設の整備・改修 イ 広域的なスポーツ施設の整備の検討	◇ 安心・安全な施設の整備・改修 ◇ 高機能アリーナについての関係者との検討 ◇ 芝生グラウンドの整備についての関係者との協議	
			ア 学校体育施設の有効活用	◇ 学校開放運営委員会の開催(年6回) >継続 ◇ 各地区での施設利用についての調整 >継続	